



## エコ・ファーストの約束 ～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

環境大臣 伊藤信太郎 殿

令和6年4月10日

株式会社ZOZO  
代表取締役社長兼CEO 澤田宏太郎

株式会社ZOZOは、「ファッションでつなぐ、サステナブルな未来へ。」というサステナビリティステートメントのもと、持続可能な社会の実現に向け、事業を通して地球環境の維持・保全に積極的に取り組み、貢献してまいります。

### 1. 環境負荷低減活動を推進し、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ネットゼロ」を実現します

#### ■2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ネットゼロ」を実現

ZOZOは、「Scope1」および「Scope2」に加えて、取引先などで排出される温室効果ガス「Scope3」も含めた事業活動に関わる全ての温室効果ガス排出量（サプライチェーン排出量）を2050年までに実質ゼロにする「ネットゼロ」を目指し、グループ全体で取り組みを推進していきます。

#### ■再生可能エネルギー由来の電力を導入

2030年までにスコープ1、2に該当する温室効果ガス排出量ゼロを目指す「2030カーボンニュートラル宣言」を掲げています。2023年8月末の段階で再生可能エネルギー電力化率は99%を達成しており、今後100%達成を目指して引き続き取り組みを進めます。

#### ■省エネルギーに関する取り組み

・物流拠点「ZOZOBASE」の全拠点において蛍光灯より省エネルギー効果の高いLED照明を設置しています。

・一部の物流拠点では、空気調和設備の電力使用量を抑える、空調最適制御システムを導入しております。

今後も各拠点で環境に配慮した取り組みを進め、省エネルギー活動を進めてまいります。

#### ■商品輸送に関する取り組み

・ファッションEC「ZOZOTOWN」で商品を購入されたお客様が、非対面での商品受け取りを希望する際に、ご都合の良い受け取り場所と日時を、配送ごとにあらかじめ指定することが可能なサービス「EAZY」を国内で初めて導入。再配達率の低減により、配送時の温室効果ガスの削減につながっています。再配達による環境負荷など、近年物流・輸送業界において大きな課

題となっていることから、再配達率を低減する取り組みを輸送業者と連携し、引き続き取り組んでまいります。

・当社の研究開発組織であるZOZO研究所が、サステナブルな物流を目指し、複数ある物流拠点「ZOZOBASE」の拠点間輸送を最小化する適正在庫配置研究をおこない、拠点間輸送に伴う温室効果ガスの削減へ取り組んでいます。今後も、環境負荷低減に関する研究やテクノロジーの導入を積極的に進めてまいります。

### ■生産支援プラットフォーム「Made by ZOZO」を構築

お客様からの注文後に商品の生産（受注生産）をおこなう生産支援プラットフォーム「Made by ZOZO」を開発し、取引先ブランドへ提供する事で、商品生産時や売れ残りの商品を廃棄する際に発生する温室効果ガスを削減しています。「Made by ZOZO」の導入により、これまで手作業でおこなっていた工場での作業をデジタル化し、複数の異なるデザインの商品を同時並行で生産可能にする当社独自のシステムを開発することで、最低1着から生産をおこなうことが可能となっています。この仕組みをより多くのブランドにご利用いただくことで、アパレル業界の課題である大量生産・大量廃棄問題の解決に貢献してまいります。

### ■計測技術を活用した環境負荷低減

簡単に足の3Dサイズを計測できる「ZOZOMAT」を活用することで、お客様に試着なしで適切なサイズのシューズをお選びいただけることから、「ZOZOMAT」対応シューズは非対応シューズに比べて返品率が36.9%（※）低いという結果がでており、サイズが合わない商品の出荷および返品にとともなう、物流による環境負荷を低減させています。

今後もテクノロジーを活用することで、環境負荷の低減に貢献していきます。

※対象期間 2020年2月27日~2020年10月12日

## 2. 事業における資源の利用を抑制するとともに、リユース促進による循環型社会の実現に貢献します

### ■社員による3R活動の実践

3Rに関連した取り組みを実践していきます。

・リデュース：会議資料のペーパーレス化、契約書の締結手段として電子契約サービス「クラウドサイン」の導入、ZOZOが運営しているカフェスタンドでのマイボトルの利用を推奨しています。

・リユース：社内に洋服を回収するボックスを設置し、社員の不要な衣類を回収。衣類は発展途上国における雇用創出活動を支援する団体に寄付しています。

・リサイクル：紙資料を廃棄する場合は、社内の専用のボックスにて回収し、専門のリサイクル業者が再資源化しています。

### ■リユース事業の促進

・ZOZOはお客様から回収したブランドのアイテムを、ブランド古着のファッションゾーン「ZOZOUSSED」で再販売する二次流通サービスを、2012年から運営しています。また、お客様が「ZOZOTOWN」で過去に購入したファッションアイテムを下取りし、注文時に割引価格で購入できる「買い替え割」を展開し、衣類が循環する仕組みを構築しています。さらに、買取査定や再販売する商品の価格設定などにAIを活用し、お客様に最大還元できる取り組みもおこなっています。

ファッションアイテムをお客様から回収する際は、段ボールやガムテープなどの梱包資材を使わず発送準備ができるリユースバッグを導入。リユースバッグはクリーニングをすることで、繰り返し使用しています。回収したファッションアイテムのうち「ZOZOUSSED」での販売基準に満たない商品は、適切な処理をしている複数の衣料品買取業者に買い取っていただいています。

す。これにより、ファッションアイテムの焼却を回避し、温室効果ガス排出抑制に貢献しています。今後も、「ZOZOUED」のサービスを通して、循環型社会の実現に寄与してまいります。

#### ■資材に関する取り組み

- ・物流拠点「ZOZOBASE」から出荷する配送用段ボールに、FSC認証を取得している資材を利用しています。その他の配送資材においても、簡易梱包が可能な資材や環境配慮素材への変更などを進めてまいります。
- ・商品と同梱していた納品書兼領収書を電子化する取り組みをおこなっており、引き続き資源の利用を抑制する取り組みを進めてまいります。

### 3. ステークホルダーへの環境情報発信および各取り組みの推進をおこないます

#### ■ファッションに関するサステナビリティ情報を発信する「elove by ZOZO」を開設

「ZOZOTOWN」上の情報コンテンツ「elove by ZOZO」では、ブランドやファッション業界の関連団体等へのインタビューのほか、海外の最新潮流やファッションにまつわるTIPS、環境・社会問題など、サステナブルなお買い物をする際に役立つ情報を紹介しています。お客様の環境に配慮した商品選択や環境に対する意識向上を目指し、引き続き情報発信をおこなってまいります。

#### ■千葉大学環境ISO学生委員会との連携

「千葉大学環境ISO学生委員会」の学生と「ファッションとサステナビリティ」をテーマに、ファッション分野の環境・社会課題について学び、課題解決に取り組んでいます。学生と共に環境問題や人権問題など、意識啓発に取り組み、誰もが暮らしやすい地域づくりを目標に今後も活動していきます。

～取り組み内容～

- ・環境、社会問題のディスカッション
- ・ZOZO本社、千葉大学周辺でのプロギング
- ・ペットボトルのリサイクル工場の見学

#### ■社内啓発企画の実施

・環境課題に関する社会情勢や企業の取り組みについて学ぶeラーニングの実施や、全社員を対象とした体験型啓発イベント「ZOZO SDGs WEEK」を実施。また、従業員やオフィス近辺の住民などを対象とした、ファッションアイテムを販売するフリマイベントも開催し、地域の方々を巻き込んだ施策も実施しています。今後も社内意識向上を目指し、取り組みを進めてまいります。

～社内啓発の取り組み内容～

- ・古着をリユースしたエコバッグの作成
- ・洋服のリペアの推奨

**株式会社ZOZOは、上記の取り組みの進捗状況を確認し、その結果をホームページなどで定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。**

